



活水高等学校  
活水中学校  
No.18  
2022年  
3月7日



# 活ける泉

年間聖句  
わたしの恵みはあなたに  
十分である。力は弱さの中  
でこそ十分に発揮される。  
コリント第二12章9節

## 活水高等学校 第74回卒業式 式辞

校長 大岩 厚

活水高等学校を卒業される皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。

保護者ならびに関係の皆さま、お子様をここまで育てこられ、この日を迎えられることを心よりお喜び申し上げます。

この2年間は、新型コロナウイルスに影響を受け続けた日々でした。感染防止のために、やむを得ず中止になった日々の活動や行事がありました。登校すら出来ない日や、登校しても、不安が消えない日々もあったことだと思います。この感染症がなければ、もっと楽しい高校生活を過ごしてもらえたかもしれない、との思いが残ります。

しかし、皆さんは様々な事に対し、感染対策を取りつつできる方法を試行錯誤しました。規模を縮小したり、目標を変更したり、また、オンラインを利用することで実施できた事もありました。

辛い思いや苦しい思いをしている方々を元気付ける為に、手作りのカードを送った事もありました。コロナ禍であっても、皆さんは3年間の高校生活を通して、たくさんのことを学び、大きく成長され卒業の日を迎えました。本当に嬉しく思います。

さて、このウイルスに対して有効性が認められているワクチンは、m(メッセンジャー)RNAワクチンに分類されますが、数年前までは実用化は困難だと言われていました。しかし、女性研究者カタリン・カリコ博士は、共同研究者とともに10年以上かけてmRNAワクチン実用化のための研究を続け、今回の感染流行に素早く対応し、ワクチンの開発に成功しました。カリコ博士は、成功を讃えられた時のインタビューで、「変えられないものに時間や気持ちを取られるより、できることを行う。自分のデータ(基礎研究)が誰かの役に立ち、科学の発展に役に立つと信じて行った。」と述べています。

皆さんがこれから歩む社会は、持続可能な開発目標(SDGs)を叶えていく事が大切な社会だと言われています。今までの便利な生活を変えていく必要に迫られる事もあるでしょう。また、様々な価値観をしながら受け止める必要も生じるでしょう。聖書には、「求めなさい。そうすれば、与えられる。探みなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。(マタイによる福音書7章7-8節)」と書かれています。そのような社会においても、皆さんには、活水高等学校で培った学びを活かし、失敗を恐れず、自分の信じたことを行いながら歩んで欲しいと願っています。

『わたし、輝く。ともに、輝く。』

輝くことを目指し続けてください。

卒業する皆さん一人一人が幸せな人生を歩むことができるように、そして、皆さんの歩みの上に神様の豊かな恵みがあるようお祈りして、校長の式辞といたします。



## 卒業生 巣立ち行く

2月15日(火)午前10時から、チャペルにおいて、高等学校第74回卒業式を挙行了しました。感染症拡大防止の為、卒業生と教職員のみでの参加となり、卒業生の保護者の皆様には、LIVE配信をいたしました。式では卒業生の一人ひとりの名前が担任から呼ばれ、校長から卒業証書が手渡されました。成長した姿で巣立ちゆく卒業生を見送ることができました。3年間(6年間)の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。(文責:野田定延)

### 感謝の辞

卒業生を代表して、Cクラスの野原結心(ゆうみ)さんが、感謝の辞を述べました。6年間の活水での生活を振り返り、部活動を通して学んだことや、仲間・先生たち、そして家族への感謝の思いを伝えました。(文責:坂口仁美) \*画像は左ページ

### 魂ゆずり

高校卒業式において行われる「魂ゆずり」は活水の伝統的な儀式です。活水で学ぶ一人ひとりが「活ける水」を汲み取り、その「活ける水」を周囲の人々に与える者になってほしいという創立者ラッセル先生の願いが込められた活水精神を象徴するものです。そこにはラッセル先生の願いと卒業生の思いが託され、魂ゆずりの手桶に2本のリボンが結ばれ、卒業生から在校生へと受け継がれていきます。



今年は、卒業生代表の小畑なつさんから「純潔」を表す白いリボン、そして「神様の愛」と「感謝の心」を表す「さくら色」のリボンが結ばれました。神様が注いでくださるたくさんの愛を受けて、桜の花のように優しく暖かな心で満たされますように。また、私たちも互いに愛し合う心と思いやりの心を持ちながら、すべてのことに感謝できる女性になってほしい、との願いが込められました。(文責:常泉晶子)

(在校生代表 高校Ⅱ年生英語科 古井理子さんの感想)

中学生の頃から毎年見ていた「魂ゆずり」を私が在校生代表として先輩方から譲り受けることができ、とても光栄でした。「さくら色」のリボンに込められた「すべてのことに感謝できる女性になってほしい」という願いの通り、コロナ禍で満足な学校生活を送ることのできない中、支えてくださる先生方、両親、友人に感謝し、その気持ちを伝えられる高校3年生になりたいと思います。

### 卒業礼拝



2月14日(月)、チャペルに高校Ⅲ年生が入場し、卒業礼拝がささげられました。頌栄24番、讃美歌512番「主よ、献げます」に続き、聖書:コリントの信徒への手紙二3章1-3節が朗読され、学院宗教学主任の崔炳一先生が「イエス・キリストの手紙として生きる」と題し、神様に愛されて過ごしてきた皆さんの存在そのものがキリストの手紙となる、神様の愛の言葉をもった手紙・他の人々にキリストの愛を伝える手紙になってほしい、という願いと祈りを贈られました。(文責:石村直義)

### 同窓会入会式

2月10日(木)、活水同窓会入会式が行われ、卒業生へ永吉美恵子会長からお祝いメッセージと記念品が贈られました。各クラスの連絡委員の紹介があり、生徒を代表して野田ひかるさんが感謝と抱負を述べました。同窓会各支部からも祝電メッセージが届き、掲示されました。(文責:石村直義)



## 中学卒業生に贈る言葉

奥田牧子先生

卒業おめでとうございます。3年生の1年間は、あっという間でしたね。日々色々なことがありましたが、運命の出会いをした27人でかけがえのない1年間が過ごせました。一度しかない人生、ぜひ、自分の「やってみよう」という気持ちを大切に色々なことに挑戦してください。

つまずくこともあるでしょう、そんなときはちょっと休んで、また新たな一歩を踏み出してください。いつでも応援しています。



## 中一進学説明会

2月3日(木)6時間目に中学1年生に向けて進学説明会を開催いたしました。当初は保護者の方にも来ていただき生徒と一緒に聞いていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため生徒のみの説明会になりました。教務部の浦島先生の説明をどの生徒も真剣に聞いていました。後日保護者の方々には動画で説明を聞いていただきました。

(文責：長門祐二)

## 高II A特進探究発表会

2月8日(火)、高II A特進個別最終探究発表会を実施しました。

II A特進11名がそれぞれ自分の興味を持った課題を設定し、昨年4月から学習に取り組んできました。単なる調べ学習にとどまらず、独自のアンケート調査や現場インタビューを行ったり、解決に向けた具体的な成果物を示したりと、昨年度よりグレードアップした質の高い内容でした。会には課題について助言してくれた活水女子大学の学生8名もオンライン参加し、先生方からは一人ひとりに指導講評をいただきました。今後は1年間の探究成果を論文にまとめ、それぞれの進路に向けた準備を進めていきます。



(文責：古田雄介)

## 高川・高I人権教育

1月12日(火)の高校II年生に引き続き、1月26日(火)に高校III年生、2月9日(火)に高校I年生の人権教育講演を行いました。講師に社会福祉法人清和福祉会の原田竜生先生をお迎えしました。原田先生は、普段福祉会で勤務をしながら「介護の仕事魅力伝道師」として長崎県内の学校で講演をされています。今回の講演では、介護の視点から考える人権について、「わたしもあなたも、共に幸せになるために、互いに知る事、支える事、その行動を次の人へ渡すこと」についてスライドを交えた講演をしていただきました。



(文責：奥田牧子)

## 高IIはつらつ ダンス発表会

今年は、新型コロナウイルス対策のため、2回に分け、2クラスずつ発表を行いました。発表した作品は、基本作品の基本6番と創作ダンスで、ダンス委員を中心に、取り組んできました。Aクラスは、基本作品は美しくダンスはかっこいい踊りを披露しました。Bクラスは、色々なジャンルの曲を使用し、楽しい踊りを披露しました。Cクラスは、楽しい曲とそれにあった振り付けでCクラスらしいダンスを披露しました。Dクラスは、テンポのいい曲で明るく元気な踊りを披露しました。ダンス発表会の結果は、以下のとおりでした。



クラスで団結し、全クラス素晴らしい発表会でした。

1位 Aクラス 2位 Cクラス 3位 Bクラス 4位 Dクラス (文責：向井杏奈)

### 発表演題

幼稚園教諭の離職について  
 高校生の不登校の主な原因と学力について  
 学生・生徒に多い悩みの傾向とこれから人と接すること  
 世代ごとのマンガのとらえ方の違い  
 薬の個人差をなくすには？  
 学歴格差が生みだすスパイラル  
 日本と外国の教育の違い  
 潜在看護師を減らすことができるか  
 障がい者の機会を平等に  
 制服の選択制をあたりまえに

22	21	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	5	3
(木)	(月)	(土)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(日)	(土)	(金)	(木)	(水)	(土)	(木)
特進	春分の日	高校新入生オリエンテーション	終業式	球技大会	ワックスがけ	40分授業	(音)重唱重奏オーケストラ	音楽提携プログラム演奏会(東山手)	高II音コース発表会(特進土曜課外)	中学卒業式(高校自宅学習日)	中学卒業礼拝(高校通常授業)	高I探究発表会	英語科発表会	中学ダンス発表会
進	の	生	式	大	が	授	奏	会	会	日	表	表	特	中
合	日	オ			け	業	重	進	進		表	表	進	学
同		リ				式	唱	土	土		会	会	土	生
自		エン					奏	曜	曜		会	会	曜	表
学		テー					会	課	課				課	会
会		シー					東	外	外				外	
(		ョン					山							
25							手							
日														

3月行事予定



## 今月の聖句

テサロニケの信徒への手紙—5章16-18節

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

学年のしめくくりの時を迎えました。一年間を振り返り、クラスや部活動の仲間、家族や親しい友人、先生方と、喜びを分かち合ったり感動を味わったりしたことが思い起こされるでしょう。コロナ禍の中で多くの制約や困難もありました。残念だったこと、悔しかったことも少なからずあったことでしょう。しかし、そうしたハードルをも乗り越えて今があります。困難によって自分が鍛えられた、「禍を転じて福となす」の言葉もあります。経験したすべての事が、糧となって成長につながっています。喜びと感謝をもって祈りつつ歩みましょう。(文責：石村直義)

## 大会等成績

〈長崎県高等学校体育連盟 卒業生顕彰〉  
野原結心

〈長崎県高等学校文化連盟 卒業生顕彰〉  
田川美桜

〈長崎県高等学校文化連盟 生徒表彰〉  
早川綾乃 \*全九州高等学校音楽コンクール  
声楽部門 金賞並びにグランプリ賞に鑑み

〈私学協会卒業生表彰(中高連会長表彰)〉  
藤村結

### 〈長崎県教育委員会 表彰〉

石川奈那美 \*PIARAピアノコンクール  
シニアB部門ファイナル第1位及び同部門  
グランプリ加えて静岡県知事賞に鑑み  
三浦蓮月 \*PIARAピアノコンクール  
デュオD部門ファイナル第1位及び同部門  
グランプリ加えて静岡県知事賞に鑑み

〈弓道〉  
滝新春千支射会 女子の部  
3位 上川内七海  
6位 森永 芹加

(文責：山口真樹人)